

令和6年度 林業普及週間現地情報(8/4～8/10)

森林管理課

伊平屋村のイヌマキ林調査

8月8日(木)

令和6年8月8日、県北部農林水産振興センター、伊平屋村役場、沖縄北部森林組合の職員8名で、伊平屋村内の40年生以上のイヌマキ人工林の現況調査を行った。ほとんどの造林地で除間伐が行われていないものの、残存するイヌマキも多く、通直で直径20cm以上、樹高10m以上の個体もあり、今後、適切な森林管理を行うことで、良質なイヌマキ林を形成できる可能性が伺えた。

イヌマキは首里城の建築材として使用されており、一級材として大切に扱われていた。しかし、キオビエダシャクという害虫による被害で多くのイヌマキが枯損している。

今後、適切な森林管理を行っていき、首里城の修復材となるよう取り組んでいきたい。



(報告者：北部農林水産振興センター 仲里、佐野、西岡、國吉)